

Weekly Global Economy

海外 経済指標・イベント予定 (2007年7月16日～7月20日)

発表日：2007年7月13日 (金)

第一生命経済研究所 経済調査部
主任エコノミスト 桂畑 誠治
副主任エコノミスト 柵山 順子

7月16日～7月20日予定

発表日 (日本時間)	イベント (経済指標、講演、等)	当社 予想	コンセンサス、 市場予想レンジ	前月値 (前回値)
7.16 (月)	21:30 (米) 7月ニューヨーク連銀製造業景気指数	18.9	17.8 (4.5～24.0)	25.8
7.17 (火)	17:30 (英) 6月消費者物価指数 (前年比)	+2.3%	+2.4% (+2.2～+2.5%)	+2.5%
	21:30 (米) 6月生産者物価指数 (前月比)	+0.1%	+0.1% (▲0.1～+0.7%)	+0.9%
	除く食品、エネルギー (前月比)	+0.2%	+0.2% (+0.1～+0.3%)	+0.2%
	22:00 (米) 5月対米証券投資 (10億ドル)	+79.0	+70.0 (+62.0～+75.0)	+84.1
	22:15 (米) 6月鉱工業生産 (前月比)	+0.4%	+0.4% (▲0.1～+0.8%)	0.0%
	23:00 設備稼働率	81.5%	81.5% (81.2～81.9%)	81.3%
	2:00 (米) 7月NAHB住宅指数	28	28 (26～29)	28
	2:00 (米) カンザスシティ連銀総裁がネブラスカ州で米 経済や金融政策についてスピーチ			
	6:00 (米) ABC消費者信頼感指数	▲8		▲9
7.18 (水)	9:30 (豪) 5月Westpac先行指数 (前月比)	+0.2%		+0.7%
	17:30 (英) 6月失業率	2.7%	2.7% (2.7～2.7%)	2.7%
	17:30 (英) BOE議事録 (7月4、5日分)			
	18:00 (独) 7月ZEW景況感調査 (期待)	+20.0	+19.7 (+13.0～+26.0)	+20.3
	20:00 (カナダ) 6月消費者物価 (前月比)	+0.2%	+0.2% (▲0.2～+0.3%)	+0.4%
	(前年比)	+2.5%	+2.5% (+2.2～+2.6%)	+2.2%
	20:00 (カナダ) 6月カナダ銀行CPIコア (前月比)	+0.2%	+0.2% (▲0.1～+0.2%)	+0.3%
	(前年比)	+2.6%	+2.6% (+2.4～+2.7%)	+2.2%
	20:00 (米) MBA住宅ローン申請指数	▲0.6%		+1.1%
	21:30 (カナダ) 6月景気先行指標指数 (前月比)	+0.4%	+0.4% (+0.2～+0.5%)	+0.5%

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

	21 : 30	(米) 6月消費者物価 (前月比)	+0.2%	+0.2% (▲0.1~+0.5%)	+0.7%
		除く食品、エネルギー (前月比)	+0.2%	+0.2% (+0.1~+0.3%)	+0.1%
	21 : 30	(米) 6月住宅着工件数 (千件)	1470	1450 (1380~1490)	1474
	21 : 30	(米) 6月建設許可件数 (千件)	1470	1480 (1450~1500)	1520
	23 : 00	(米) バーナンキFRB議長が下院金融委で議会証言			
7.19	11 : 00	(中国) 4-6月期実質GDP成長率 (前年比)	+10.9%	+10.9% (+10.0~+11.8%)	+11.1%
(木)	11 : 00	(中国) 6月固定資産投資 (都市部、年初来、前年比)	+26.1%	+26.0% (+25.5~+26.3%)	+25.9%
	11 : 00	(中国) 6月消費者物価 (前年比)	+3.6%	+3.5% (+3.0~+3.9%)	+3.4%
	11 : 00	(中国) 6月小売売上高 (前年比)	+16.3%	+16.0% (+15.2~+16.7%)	+15.9%
	11 : 00	(中国) 6月鉱工業生産 (前年比)	+17.5%	+17.5% (+16.5~+19.0%)	+18.1%
	17 : 30	(英) 6月マネーサプライ (M4、前年比)	+13.4%	+13.4% (+13.4~+13.4%)	+13.9%
	17 : 30	(英) 6月小売売上高 (前月比)	+0.1%	+0.3% (▲0.2~+0.5%)	+0.4%
	21 : 30	(米) 新規失業保険申請件数 (千件)	304	305 (300~320)	308
	22 : 30	(米) バーナンキFRB議長が上院銀行委で議会証言			
	23 : 00	(米) 6月景気先行指数 (前月比)	▲0.1%	▲0.1% (▲0.3~+0.2%)	+0.3%
	1 : 00	(米) 7月フィラデルフィア連銀指数	+15.3	+14.0 (+7.5~+20.0)	+18.0
	1 : 30	(米) シカゴ連銀総裁がフィラデルフィアでエコノミスト会合でスピーチ			
	3 : 00	(米) FOMC議事録 (6月27、28日分)			
7.20	15 : 30	(インド) 卸売物価 (7月7日の週、前年比)	+3.98%		+4.13%
(金)					
	17 : 30	(英) 4-6月期実質GDP成長率 (前期比、速報値)	+0.7%	+0.7% (+0.4~+0.8%)	+0.7%
	17 : 30	(英) 5月サービス業指数 (3ヶ月移動平均3ヶ月前比)	+0.7%		+1.0%
	0 : 00	(米) セントルイス連銀総裁がセントルイスでサブプライム住宅ローンについてスピーチ			

上記以外に、毎週火曜日に週間小売統計が発表される。

(注1) 網掛けの経済指標は Indicators 作成予定、太字は重要指標

(注2) 市場予想は Bloomberg

(注3) ※は発表時期未定

(注4) (欧) はユーロ圏

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

各国別重要指標の解説

●米国

6月生産者物価指数（前月比）、除く食品、エネルギー（前月比）

・食品価格が上昇している一方で、ガソリン価格が低下したことから前月比+0.1%への鈍化が予想される。コア物価は前月比+0.2%と緩やかな上昇ペースを維持する見込み。

・変動の大きい食料・エネルギーを除いた生産者物価コア（最終財コア）のモメンタム（3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率）は、最終財コアに6ヵ月程度先行する中間財コアが2006年8月から2007年1月にかけて低下したことから、2007年7月まで鈍化傾向を辿ると見込まれる。

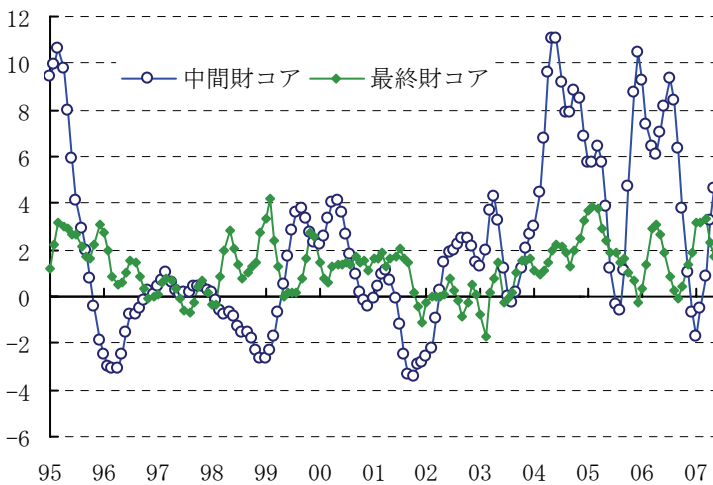
・2007年8月以降は、中間財コアが2、3、4、5月と上昇したため、最終財コアは2007年8月に上昇に転じた後、12月まで上昇ペースが加速すると予想される。しかし、競争の激化や生産性の向上等を背景に、川中である中間財から川下である最終財への波及が限定的なものにとどまるとみられ、最終財コアは緩やかな上昇になると見込まれる。

	生産者物価 (Producer Price Indexes)											
	最終財		コア		エネルギー	中間財	コア		原材料	コア		WTI
06/05	+0.2	(+4.5)	+0.2	(+1.5)	+1.1	+1.2	+1.1	+2.1	+9.2			71.0
06/06	+0.5	(+4.9)	+0.1	(+1.7)	+1.1	+0.5	+0.6	▲2.8	▲1.0			71.0
06/07	▲0.1	(+4.0)	▲0.5	(+0.8)	+0.7	+0.2	+0.5	+2.5	+1.5			74.4
06/08	+0.4	(+3.8)	+0.4	(+1.2)	▲0.5	+0.4	+0.4	+2.6	▲3.4			73.1
06/09	▲1.1	(+0.9)	+0.3	(+1.3)	▲5.9	▲1.3	+0.0	▲3.8	+1.4			63.9
06/10	▲1.5	(▲1.2)	▲0.4	(+1.0)	▲5.8	▲1.2	▲0.1	▲9.1	▲2.7			59.1
06/11	+1.6	(+0.9)	+0.9	(+1.9)	+5.4	+0.6	▲0.4	+11.7	▲0.6			59.4
06/12	+0.7	(+1.1)	+0.1	(+2.0)	+2.4	+0.9	+0.1	+2.5	+1.7			62.1
07/01	▲0.6	(+0.1)	+0.2	(+1.7)	▲4.3	▲0.7	+0.0	▲5.9	+1.8			54.7
07/02	+1.3	(+2.5)	+0.4	(+1.8)	+3.1	+1.0	+0.4	+11.1	+2.3			59.4
07/03	+1.0	(+3.2)	+0.0	(+1.7)	+3.6	+1.0	+0.2	+3.2	+7.7			60.7
07/04	+0.7	(+3.2)	+0.0	(+1.5)	+3.4	+0.9	+0.8	▲1.4	+0.4			64.0
07/05	+0.9	(+4.1)	+0.2	(+1.6)	+4.1	+1.1	+0.4	+2.5	+0.1			63.5

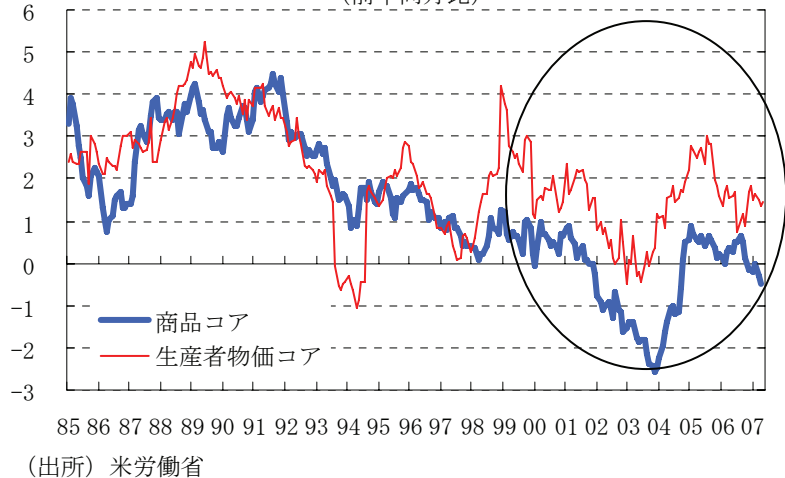
(出所) 労働省 (Department of Labor)

(注) 数字は季調済前月比。但し、() 内は前年同月比 (未季調)。

(%) 生産者物価（最終財）の推移
(3ヶ月移動平均、3ヶ月前対比年率)



(%) 生産者消費財物価コアと消費者物価商品コア
(前年同月比)



(出所) 米労働省

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

6月鉱工業生産（前月比）

設備稼働率

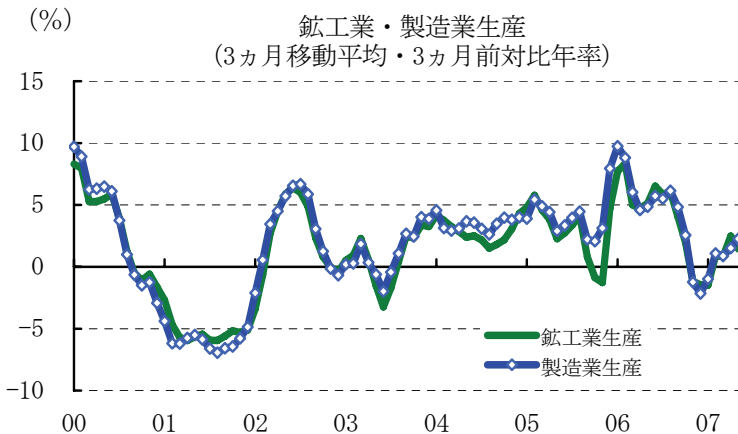
・気温の上昇によって公益が増加に転じ、製造業がハイテク、航空機生産の拡大によって加速し、モメンタムの改善が続く見込み。生産の加速により稼働率も上昇し、高い水準を維持すると予想される。

鉱工業生産（Industrial Production and Capacity Utilization）

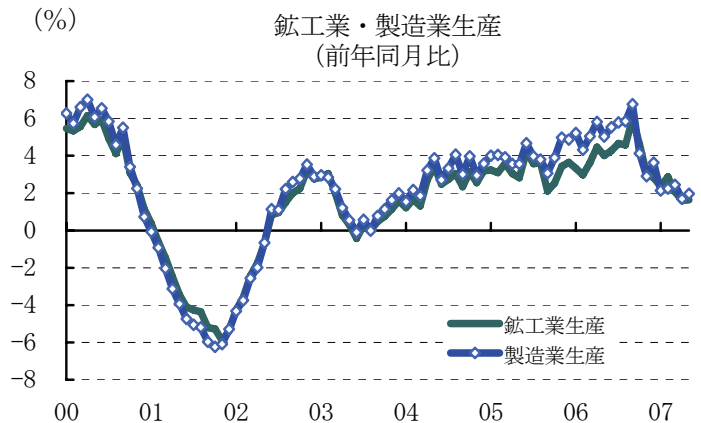
	鉱工業生産		製造業 (NAICS)						設備稼働率			生産能力
	前月比	前年同月比	製造業 (NAICS)	鉱業	公益	ハイテク 関連	除ハイテク 関連	自動車関連	稼働率	製造業 (NAICS)		
06/05	▲0.1	(+4.0)	▲0.2	+0.9	+0.3	+1.8	▲0.5	▲1.7	+81.7	+80.1	+0.2	
06/06	+0.9	(+4.3)	+0.9	+0.4	+1.6	+1.6	+0.6	+2.1	+82.3	+80.6	+0.2	
06/07	+0.4	(+4.7)	+0.4	▲0.1	+1.2	+1.7	+0.3	▲4.1	+82.4	+80.8	+0.2	
06/08	+0.2	(+4.6)	+0.4	▲1.1	+0.0	+2.5	+0.1	+1.9	+82.4	+80.9	+0.2	
06/09	▲0.3	(+6.0)	▲0.0	+1.1	▲3.9	+3.1	▲0.4	▲1.3	+82.0	+80.7	+0.2	
06/10	▲0.2	(+4.6)	▲0.9	▲0.1	+5.0	+1.7	▲0.7	▲3.6	+81.7	+79.8	+0.2	
06/11	▲0.4	(+3.0)	▲0.2	▲0.2	▲2.7	+0.8	▲0.2	+3.5	+81.3	+79.5	+0.2	
06/12	+0.6	(+2.8)	+1.2	+1.8	▲4.1	+1.1	+1.2	+1.7	+81.6	+80.3	+0.2	
07/01	▲0.5	(+2.4)	▲0.7	▲2.3	+2.5	+0.6	▲1.0	▲5.9	+81.1	+79.6	+0.2	
07/02	+0.8	(+2.9)	▲0.1	▲0.1	+8.6	+0.2	+0.0	+2.4	+81.6	+79.4	+0.2	
07/03	▲0.3	(+2.1)	+0.6	+0.9	▲8.3	+1.2	+0.6	+0.5	+81.2	+79.8	+0.2	
07/04	+0.4	(+1.6)	+0.2	▲0.6	+3.4	+0.8	+0.3	+1.4	+81.5	+79.8	+0.2	
07/05	▲0.0	(+1.6)	+0.1	+0.5	▲1.3	+0.3	▲0.0	▲0.5	+81.3	+79.7	+0.2	

(出所) FRB

(注) 数字は前月比、但しカッコ内は前年同月比。



(出所) FRB



(出所) FRB

6月消費者物価（前月比）、除く食品、エネルギー（前月比）

・消費者物価はエネルギー価格の低下により前月比+0.2%に鈍化が見込まれる。コアインフレは帰属家賃、衣料品の上昇により同+0.24%と小幅加速が予想される。

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

消費者物価 (Consumer Price Index)

	消費者物価											
	コア		エネルギー		食品	住宅	アパレル	運輸	医療	商品コア	サービスコア	
06/05	+0.5	(+4.2)	+0.244	(+2.4)	+3.7	+0.1	+0.2	+0.0	+2.1	+0.4	+0.0	+0.3
06/06	+0.2	(+4.3)	+0.292	(+2.6)	▲0.5	+0.4	+0.2	+0.0	+0.1	+0.2	+0.1	+0.4
06/07	+0.4	(+4.1)	+0.243	(+2.7)	+2.5	+0.2	+0.3	▲0.6	+1.3	+0.3	+0.0	+0.3
06/08	+0.3	(+3.8)	+0.242	(+2.8)	+0.4	+0.3	+0.3	+0.6	+0.2	+0.4	+0.1	+0.3
06/09	▲0.5	(+2.1)	+0.193	(+2.9)	▲7.3	+0.4	+0.3	+0.5	▲4.1	+0.3	+0.0	+0.3
06/10	▲0.4	(+1.3)	+0.145	(+2.7)	▲6.7	+0.3	+0.0	▲0.5	▲3.0	+0.3	▲0.2	+0.3
06/11	+0.0	(+2.0)	+0.096	(+2.6)	▲0.2	▲0.1	+0.4	▲0.1	▲0.8	+0.2	▲0.4	+0.3
06/12	+0.4	(+2.5)	+0.144	(+2.6)	+4.2	▲0.1	+0.4	+0.2	+1.7	+0.2	+0.0	+0.2
07/01	+0.2	(+2.1)	+0.256	(+2.7)	▲1.5	+0.7	+0.2	+0.3	▲0.8	+0.8	+0.1	+0.3
07/02	+0.4	(+2.4)	+0.241	(+2.7)	+0.9	+0.8	+0.4	+0.5	+0.1	+0.5	+0.1	+0.3
07/03	+0.6	(+2.8)	+0.061	(+2.5)	+5.9	+0.3	+0.2	▲1.0	+2.8	+0.1	▲0.1	+0.1
07/04	+0.4	(+2.6)	+0.177	(+2.3)	+2.4	+0.4	+0.2	▲0.3	+1.2	+0.4	▲0.1	+0.3
07/05	+0.7	(+2.7)	+0.150	(+2.2)	+5.4	+0.3	+0.2	▲0.3	+2.8	+0.3	▲0.1	+0.3

(出所) 労働省 (Department of Labor)

(注) 数字は季調済前月比。但し、() 内は前年同月比 (未季調)。

6月住宅着工件数 (千件)

・5月の住宅着工許可件数が増加したことや天候が良かったことを背景に前月から増加が予想される。ただ、住宅在庫率の高止まりから住宅着工許可件数は減少する見込み。

住宅着工・許可件数 (Housing Starts and Building Permits)

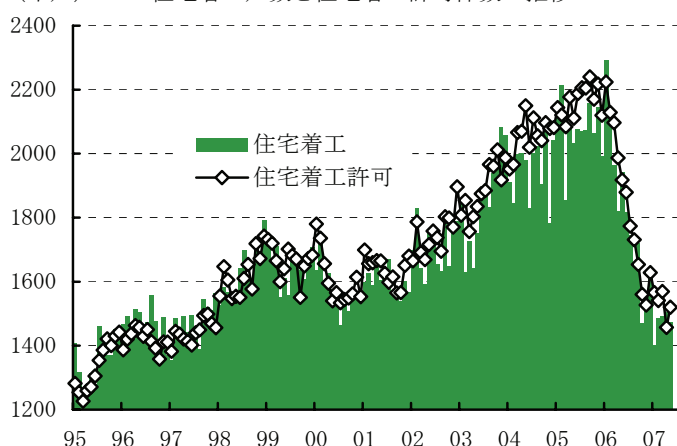
	住宅着工				住宅許可				モーゲージ金利	住宅市場指数	
	一戸建て	2~4戸	5戸以上		北東部	中西部	南部	西部			
06/06	1819	1469	44	306	167	292	906	454	1879	6.72	42
06/07	1746	1434	82	230	147	292	880	427	1774	6.71	39
06/08	1646	1355	40	251	158	250	842	396	1731	6.41	33
06/09	1721	1391	29	301	137	267	937	380	1654	6.28	30
06/10	1470	1181	38	251	147	232	713	378	1560	6.30	31
06/11	1565	1273	20	272	153	227	828	357	1527	6.13	33
06/12	1629	1241	49	339	174	226	808	421	1628	6.12	33
07/01	1403	1123	23	257	188	190	699	326	1566	6.21	35
07/02	1487	1188	30	269	134	163	798	392	1541	6.16	39
07/03	1491	1205	36	250	129	226	765	371	1569	6.07	36
07/04	1506	1211	34	261	166	206	738	396	1457	6.16	33
07/05	1474	1170	33	271	192	238	726	318	1520	6.23	30
07/06										6.58	28

(出所) 商務省、F R B

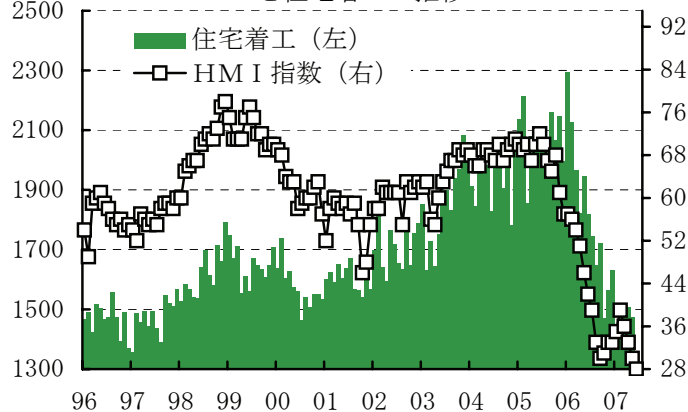
(注1) 住宅着工の正式分類は、1戸建、2戸建、3~4戸建、5戸建以上。

(注2) モーゲージ金利の出所はF R B。別統計。

(千戸) 住宅着工戸数と住宅着工許可件数の推移



(万戸) 全米建設業者住宅市場指数 (HMI) と住宅着工の推移



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

バーナンキFRB議長の議会証言（下院金融委、上院銀行委）

- ・基本的には6月29日のFOMC声明文に沿った内容、景気への楽観的な見方とインフレに対する警戒姿勢を示す見込み。
- ・景気は今年前半住宅部門の調整が継続しているにもかかわらず、経済成長は緩やかな伸びとなったとの認識を示そう。先行きは、住宅部門の不振から今後数四半期経済は緩やかな拡大が続くとの見方を示す見込み。
- ・サブプライムに関しては、これまでと同様に経済全体への影響は限定的との考えを述べよう。
- ・インフレに関しては、最近数ヵ月コアインフレの数値は穏やかに改善したが、継続的なインフレ圧力の抑制はまだ確認されていないとの判断を示そう。さらに、高水準にある資源利用によってインフレ圧力が持続する可能性があるとしたうえで、7月10日の講演と同様、インフレ期待は数十年前と比較してかなり安定しているようにみえるが、依然完全には安定していないとの見方を示す見込み。

●欧州

（独）7月ZEW景況感調査

現状判断については、国内外からの資本財を中心とする製造業受注の高い伸びが続いていることなどから、高水準を保ったと予想する。期待指数については、前月と比較して、金利先高感などを背景にユーロ高が大きく進展した一方で、米国経済をはじめとする世界経済の加速感はそれほど高まっていない。このため、輸出見通しが小幅下方修正され、製造業の期待指数も小幅低下が見込まれる。家計部門については、雇用環境の回復に沿った形での持ち直しが続いているだろう。総じて見れば、期待指数も前月からほぼ横ばいの推移になったと予想する。

（英）4－6月期実質GDP成長率

イギリス経済は、4－6月期も潜在成長率を小幅上回る程度の成長が続いたと予想する。サービス業は、経済の牽引役である金融業が好調さを維持したことに加え、家計部門のゆるやかな拡大に支えられて個人向けサービスも堅調に推移している。一方、鉱工業をみると、最大貿易相手国であるユーロ圏経済が堅調さを維持したことなどを背景に製造業が好調に推移している。この結果、サービス業は前期程度の伸びを確保、製造業は前期からやや伸びが高まったと予想する。

（英）6月消費者物価指数（前年比）

BOEの調査で発表されたガス、電気代の引下げの多くは、4、5月に実施されており、6月はその影響は小さなものになった模様。ただし、昨年6月以降、エネルギー価格の高騰を背景に消費者物価上昇率が急激に高まったことを考えると、前年比で見た消費者物価上昇率はベース効果に大きく押し下げられると予想する。

（英）BOE議事録（7月4、5日分）

労働力余剰の存在を指摘し、消費は弱く、企業の余剰生産能力は逼迫しておらず、そのため消費者への価格転嫁は進まないとの主張を繰り返す一部の委員を除く大半の委員が、好調な景気動向を理由に、7月の利上げを支持したと予想される。利上げは、従来予想されていた8月（インフレーションレポート発表月）から前倒しされた形だが、その割に利上げ当日に発表された声明文に逼迫感は感じられなかった。利上げは継続されるのか、BOEのテンションが注目される。

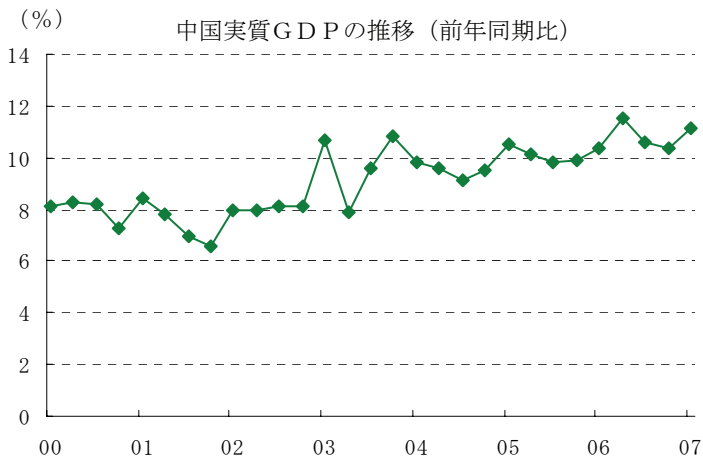
本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

●アジア

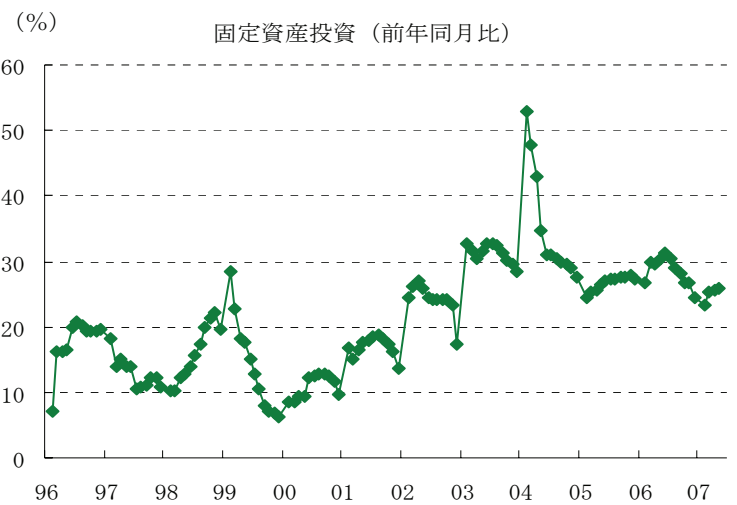
(中国)

4～6月期実質GDP成長率(前年比)、6月固定資産投資(都市部、年初来、前年比)、6月消費者物価(前年比) 6月小売売上高(前年比)、6月鉱工業生産(前年比)

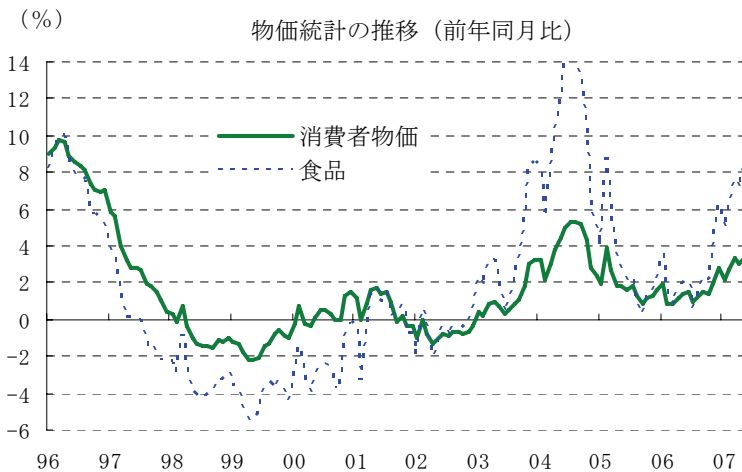
- ・ 4～6月期の実質GDP成長率は消費、固定資産投資の加速によって、1～3月期の前年同期比+11.1%から小幅鈍化にとどまり、高成長持続が確認される見込み。ただ、2006年の成長率が前年比+10.7%から同+11.1%に上方改定されたことから未発表の四半期の改定内容次第では小幅下ぶれる可能性もある。
- ・ 月次の統計でも固定資産投資、小売売上高、鉱工業生産の6月の数字は高い伸びを示すとみられること、インフレ面でも、6月の消費者物価は食品価格の上昇によって前年比で加速すると予想されることから、様々な金融引き締め策が早急に発表される公算が大きい。



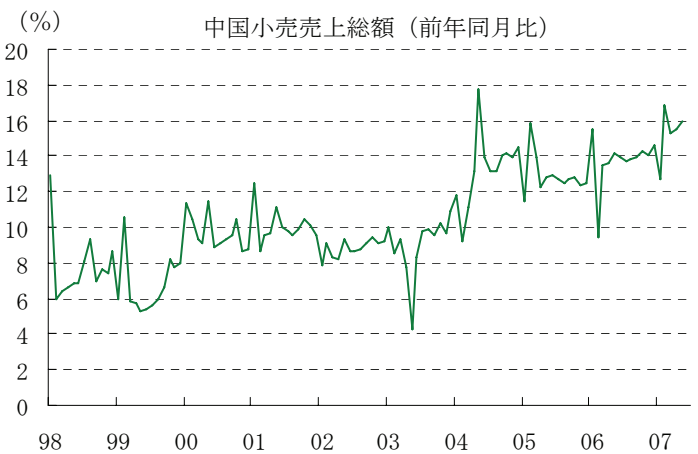
(出所) National Bureau of Statistics, China



(出所) National Bureau of Statistics, China

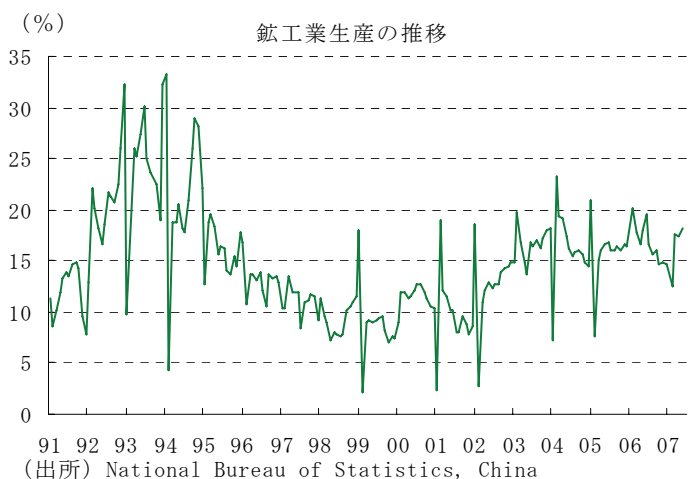


(出所) National Bureau of Statistics, China



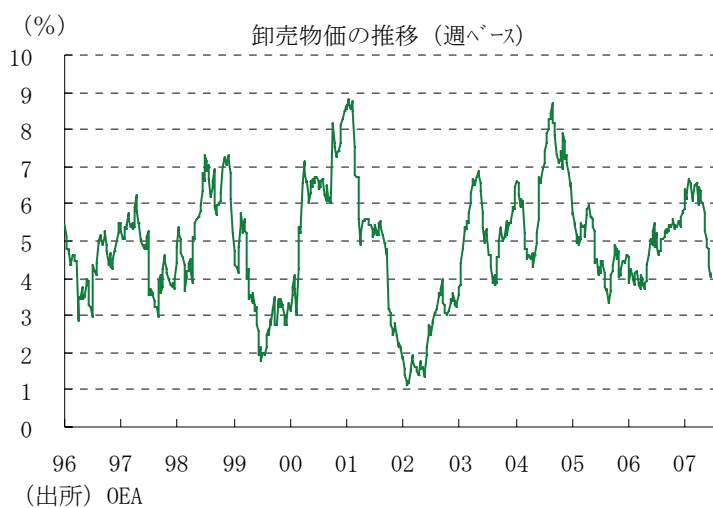
(出所) National Bureau of Statistics, China

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。



(インド)

卸売物価（7月7日の週、前年比）



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

＜日本・海外経済＞月間スケジュール (07年7月～9月)

7月

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
7/2 6月日銀短観(8:50) 5月毎月勤労統計(10:30) 6月自動車販売(14:00) 6月軽自動車販売(14:00) 西村日銀審議委員講演 (米)6月ISM製造業指数 (欧)6月製造業PMI(確定値)	3 6月短観業種別計数及び調査全容(8:50) 6月マネタリーベース(8:50) 5月家計消費状況調査(14:00) 10年利付国債 武藤日銀副総裁講演 (米)5月中古住宅販売保留 (米)5月製造業受注 (米)6月自動車販売	4	5 5月景気動向指数(14:00) (米)6月ISM非製造業指数 (欧)ECB理事会 (英)BOE金融政策決定会合	6 (米)6月雇用統計
9 5月機械受注(8:50) 6月マネーサプライ(8:50) 6月貸出・資金吸収(8:50) 6月景気ウォッチャー(14:00) (米)5月消費者信用残高	10 5年利付国債 (シンガポール)4-6月期実質GDP	11 5月国際収支(8:50) 6月企業物価(8:50) 6月消費動向調査(14:00) 金融政策決定会合(~12日)	12 5月鉱工業指数・確(13:30) 5月商業販売統計・確(13:30) 7月金融経済月報(15:00) 日銀総裁定例記者会見(15:30) (米)5月貿易収支 (米)6月財政収支	13 6月投入・産出物価指数(8:50) (米)6月輸入物価 (米)6月小売売上高 (米)7月シカゴ大消費者センチ(速) (米)5月企業在庫
16 (米)7月NY連銀製造業指数	17 5月第3次産業活動指数(8:50) 7月月例経済報告 (米)5月対米証券投資 (米)6月鉱工業生産 (米)7月NAHB住宅指数	18 5月毎月勤労統計・確(10:30) 5月建設総合統計(14:00) 7月月例経済報告 5月景気動向指数改訂(14:00) 金融政策決定会合議事要旨(6月14・15日分) 30年利付国債 (米)6月消費者物価 (米)6月住宅着工件数 (米)6月建設許可件数	19 7月ロイター短観(8:30) 5月全産業活動指数(8:50) ※6月全国百貨店売上高(14:30) (米)6月景気先行指数 (米)7月7月7日連銀指数 (米)FOMC議事録(6/28) (中国)4-6月期実質GDP	20 6月コンビニエンスストア統計(16:00) (英)4-6月期実質GDP
23 ※6月チェーンストア販売統計(14:00) ※(韓国)4-6月期実質GDP	24 7月主要銀行貸出アンケート調査(8:50) (欧)7月製造業PMI(速報値)	25 ※6月貿易統計(8:50) (米)ページブック (米)6月中古住宅販売件数	26 6月CSPI(8:50) 20年利付国債 野田日銀審議委員挨拶 (米)6月耐久財受注 (米)6月新築住宅販売件数 (米)6月求人広告指数 (独)7月ifo景況感指数	27 6月消費者物価・全(8:30) 7月消費者物価・都(8:30) 6月商業販売統計(8:50) (米)4-6月期実質GDP(速報値) (米)7月シカゴ大消費者センチ(確)
30 6月鉱工業指数(8:50)	31 6月労働力調査(8:30) 6月一般職業紹介状況(8:30) 6月家計調査(8:30) 6月毎月勤労統計(10:30) 6月住宅着工統計(14:00) 2年利付国債 (米)6月個人所得・消費 (米)6月PCEデフレーター (米)4-6月期雇用コスト指数(速) (米)7月シカゴPMI (米)6月建設支出 (欧)7月消費者物価(速)	8/1 7月自動車販売(14:00) 7月軽自動車販売(14:00) 2007年路線価 (米)7月ISM製造業指数 (米)7月自動車販売 (米)6月中古住宅販売保留 (欧)7月製造業PMI(確定値)	2 7月マネタリーベース(8:50) 10年利付国債 (米)6月製造業受注 (欧)ECB理事会 (英)BOE金融政策決定会合	3 6月家計消費状況調査(14:00) (米)7月雇用統計 (米)7月ISM非製造業指数

(※)印は日時が未定のもの

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

8月

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
30 <u>6月鉱工業指数(8:50)</u>	31 6月労働力調査(8:30) 6月一般職業紹介状況(8:30) 6月家計調査(8:30) 6月毎月勤労統計(10:30) 6月住宅着工統計(14:00) 2年利付国債 (米)6月個人所得・消費 (米)6月PCEデフレーター (米)4-6月期雇用コスト指数(速) (米)7月シカゴPMI (米)6月建設支出 (欧)7月消費者物価(速)	8/1 7月自動車販売(14:00) 7月軽自動車販売(14:00) <u>2007年路線価</u> <u>(米)7月ISM製造業指数</u> (米)7月自動車販売 (米)6月中古住宅販売保留 (欧)7月製造業PMI(確定値)	2 7月マネタリーベース(8:50) 10年利付国債 (米)6月製造業受注 (欧)ECB理事会 (英)BOE金融政策決定会合	3 6月家計消費状況調査(14:00) <u>(米)7月雇用統計</u> (米)7月ISM非製造業指数
6 <u>6月景気動向指数(14:00)</u>	7 10年物価変動国債 <u>(米)FOMC</u> (米)6月消費者信用残高 (米)4-6月期非農業部門労働生産性(速)	8 <u>6月機械受注(8:50)</u> 7月マネーサプライ(8:50) 7月貸出・資金吸収(8:50) 7月景気ウォッチャー	9 5年利付国債	10 7月企業物価(8:50) 6月鉱工業指数・確(13:30) 6月商業販売統計・確(13:30) 7月消費動向調査(14:00) (米)7月輸入物価 (米)7月財政収支 (伊)4-6月期実質GDP
13 6月国際収支(8:50) ※4-6月期GDP1次速報(8:50) (米)7月小売売上高 (米)6月企業在庫	14 6月第3次産業活動指数(8:50) 7月投入・産出物価指数(8:50) (米)6月貿易収支 (欧)4-6月期実質GDP (独)4-6月期実質GDP (仏)4-6月期実質GDP	15 8月ロイター短観(8:30) <u>(米)7月消費者物価</u> (米)8月NY連銀製造業指数 (米)6月対米証券投資 <u>(米)7月鉱工業生産</u> (米)8月NAHB住宅指数 ※(インドネシア)4-6月期実質GDP	16 6月建設総合統計(14:00) (米)7月住宅着工件数 (米)7月建設許可件数 (米)8月7月連銀指数	17 6月毎月勤労統計・確(10:30) <u>6月景気動向指数改訂(14:00)</u> ※7月全国百貨店売上高(14:30) (米)8月シカゴ大消費者センチ(速) (香港)4-6月期実質GDP
20 7月コンビニエンスストア統計(16:00) (米)7月景気先行指標	21 6月全産業活動指数(8:50) 15年変動利付国債 ※(台湾)4-6月期実質GDP	22 <u>金融政策決定会合(～23日)</u> ※7月貿易統計(8:50) ※7月チェーンストア販売統計(14:00) ※(マレーシア)4-6月期実質GDP	23 <u>8月金融経済月報(15:00)</u> <u>日銀総裁定例記者会見(15:30)</u> ※8月月例経済報告	24 7月CSPI(8:50) (米)7月耐久財受注 (米)7月新築住宅販売件数 (欧)8月製造業PMI(速報値) ※(独)8月ifo景況感指数
27 (米)7月中古住宅販売件数	28 <u>金融政策決定会合議事要旨(7月11・12日分)</u> 20年利付国債 <u>(米)FOMC議事録(8/7)</u>	29	30 7月商業販売統計(8:50) 2年利付国債 <u>(米)4-6月期実質GDP(改定値)</u> (米)7月求人広告指数 (米)4-6月期住宅価格指数 (フィリピン)4-6月期実質GDP	31 <u>7月消費者物価・全(8:30)</u> <u>8月消費者物価・都(8:30)</u> 7月労働力調査(8:30) 7月一般職業紹介状況(8:30) 7月家計調査(8:30) <u>7月鉱工業指数(8:50)</u> 7月住宅着工統計(14:00) (米)7月個人所得・消費 (米)7月PCEデフレーター (米)8月シカゴPMI (米)7月製造業受注 (米)8月シカゴ大センチ(確) (欧)8月消費者物価(速)

(※)印は期日が未定のもの

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

9月

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
27 (米)7月中古住宅販売件数	28 金融政策決定会合議事要旨 (7月11・12日分) 20年利付国債 (米)FOMC議事録(8/7)	29	30 2年利付国債 7月商業販売統計(8:50) (米)4-6月期実質GDP(改定値) (米)7月求人広告指数 (米)4-6月期住宅価格指数 (フィリピン)4-6月期実質GDP	31 7月消費者物価・全(8:30) 8月消費者物価・都(8:30) 7月労働力調査(8:30) 7月一般職業紹介状況(8:30) 7月家計調査(8:30) 7月鉱工業指数(8:50) 7月住宅着工統計(14:00) (米)7月個人所得・消費 (米)7月PCEデフレーター (米)8月シカゴPMI (米)7月製造業受注 (米)8月ミンガン大センチ(確) (欧)8月消費者物価(速)
9/3 4~6月期法人企業統計(8:50) 7月毎月勤労統計(10:30) 8月自動車販売(14:00) 8月軽自動車販売(14:00) (欧)8月製造業PMI(確定値) (タイ)4-6月期実質GDP	4 8月マネタリーベース(8:50) 7月家計消費状況調査(14:00) 10年利付国債 (米)8月ISM製造業指数 (米)8月自動車販売 (米)7月建設支出	5 (米)ページブック (米)7月中古住宅販売保留	6 (米)4-6月期非農業部門労働生産性(確) (米)8月ISM非製造業指数 (欧)ECB理事会 (英)BOE金融政策決定会合	7 7月景気動向指数(14:00) (米)8月雇用統計
10 4-6月期GDP2次速報(8:50) 8月マネーサプライ(8:50) 8月貸出・資金吸収(8:50) 8月景気ウォッチャー (米)7月消費者信用残高	11 7月機械受注(8:50) 5年付国債 ※8月消費動向調査(14:00) (米)7月貿易収支	12 7月国際収支(8:50) 8月企業物価(8:50)	13 7月商業販売統計・確(13:00) (米)8月財政収支	14 8月投入・産出物価指数(8:50) 7月鉱工業指数・確(13:30) (米)8月輸入物価 (米)8月小売売上高 (米)8月鉱工業生産 (米)9月ミンガン大消費者センチ(速) (米)7月企業在庫
17 (米)9月NY連銀製造業指数	18 9月ロイター短報(8:30) 7月第3次産業活動指数(8:50) 4~6月期資金循環(8:50) 7月毎月勤労統計・確(10:30) 7月建設総合統計(14:00) 金融政策決定会合(~19日) ※9月月例経済報告 ※2007年基準地価 (米)FOMC (米)9月NAHB住宅指数 (米)7月対米証券投資	19 9月金融経済月報(15:00) 日銀総裁定例記者会見(15:30) 7月景気動向指数改訂(14:00) ※8月全国百貨店売上高(14:30) (米)8月消費者物価 (米)8月住宅着工件数 (米)8月建設許可件数	20 7~9月期法人企業景気予測調査(8:50) 8月コンビニエンスストア統計(16:00) 20年利付国債 (米)8月景気先行指標 (米)9月フィラ連銀指数	21 7月全産業活動指数(8:50) ※8月チェーンストア販売統計(14:00)
24 ※(独)9月IFO景況感指数	25 8月CSPI(8:50) 金融政策決定会合議事要旨(8月22・23日分) (米)8月中古住宅販売件数	26 ※8月貿易統計(8:50) (米)8月耐久財受注	27 2年利付国債 (米)8月新築住宅販売件数 (米)8月求人広告指数 (米)4-6月期実質GDP(確定値)	28 8月消費者物価・全(8:30) 9月消費者物価・都(8:30) 8月労働力調査(8:30) 8月一般職業紹介状況(8:30) 8月家計調査(8:30) 8月鉱工業指数(8:50) 8月商業販売統計(8:50) 8月住宅着工統計(14:00) (米)8月個人所得・消費 (米)8月PCEデフレーター (米)9月シカゴPMI (米)9月ミンガン大センチ(確) (米)8月建設支出 (欧)9月消費者物価(速) (インド)4-6月期実質GDP

(※)印は期日が未定のもの

以上

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。